



株式会社ケアライフエナジー SDGs宣言

『私たちは、利用者の方々の「その人らしい生活」を大切に、穏やかで安心感にあふれる充実した生活を送ることができるようサポートします。』という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2021年10月26日

株式会社ケアライフエナジー

代表取締役 菊池 慶治



重点項目(ターゲット2030)

地域社会と連携した介護福祉の実現

利用者の方々が、これまでと変わらない暮らしを継続できるよう、一人ひとりに合わせた介護を提供し、「その人らしい生活」をサポートします。地域社会との連携を大切に、地域に求められる介護福祉を目指します。

【主な取り組み】

様々な介護サービスの提供、様々な生活支援サービスの提供、災害時協力事項の策定、災害・事故時におけるマニュアルの策定、地域行事への積極参加、ステークホルダーとの連携



働きやすい職場環境づくり

すべての従業員が、明るく元気で生き活きと働けるよう、健康で安全な働きやすい職場づくりを目指します。従業員エンゲージメントの向上に努め、笑顔あふれる職場の実現に取り組めます。

【主な取り組み】

ハラスメント研修の実施、育児休業制度、介護休業制度、現場の声や実情の把握、長時間労働の是正、非正規社員から正規社員への転換



人材の育成・確保

利用者の方々が、穏やかで安心して生活が送れるよう、従業員の資質向上に努め、従業員のスキルアップと人材の確保に取り組めます。従業員の成長とともに、持続的に成長できる会社を目指します。

【主な取り組み】

キャリアパスの実施、資格取得にかかる助成金制度、実務者研修受講支援



環境への配慮

環境問題を重要な経営課題の一つとして捉え、事業活動における環境負荷の低減に努めます。環境に配慮した経営に取り組む、持続可能な社会の実現に貢献します。

【主な取り組み】

太陽光パネルの設置、ゴミの分別、節水、グリーンマーク製品の利用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。